



南っ子だより



学校教育目標 「共に輝く たくましい 南っ子」

重点目標 「あふれる笑顔 熱い瞳 まぶしい汗」

文責 森 佐和子
伊豆市柏久保 425-1
0558-72-0149

学校周辺の山々も色づき、真っ青な秋晴れの空と紅葉のコントラストが美しい季節となりました。朝夕もひととき冷え込むようになりましたが、寒さに負けない元気な南っ子たちは持久走大会に備えて頑張っています。12月の本番に向け、自分なりの目標を立て、心と体を鍛える時間になると思います。

先日は伊豆市の作品展に多くの方がご来場くださったと聞きました。子供たちの力作をお楽しみいただけただけでしょうか。

校内にも子供たちの素敵な感性で作られた作品がたくさん飾られています。



見つけた「秋」でこんなにすてきな作品ができました!

将来の夢を形にしました!



読書ゆうびん

「読書の秋」にちなんで、南っ子たちは読書ゆうびんを作成しています。自分のお気に入り、お勧めの一冊についてイラストを付けて友達に紹介しています。

本をたくさん読むことで、言葉と出合ったり世界観が広がったり・・・読書の秋を楽しんでほしいと思います。今月の家族読書は26・27日です。

1年生の作品です。こんなすてきなゆうびんが届いたら思わずこの本を読みたくなりますよね!



4年生の学習より



高齢者体験をしてみて、とても体が重いことに気付いた。また、命の話を通して、子供を産むことはとても大変な事だと思った。だからこそ、自分自身これから元気で生活したい、自分のまわりも元気でいてほしい。

高齢者や障害者の方は生活するのがとても大変だと思った。また、命は一つしかないから、自分で守らないといけないと感じた。

高齢者体験を行い、階段を歩くのがとても大変だった。また、命の話から、妊婦さんも大切にしたいと思った。私はバスを使うことがあるので、もしそういう方に会ったら荷物を持ったり席を譲ったりしていきたいと思う。

みんな「体」は一緒。高齢者も障害者も赤ちゃんも・・・そして自分も。だから差別なんてしちゃいけない。まわりの人も自分のことも大切にしていきたい。

『福祉体験』『命のはなし』



【お願い】今年インフルエンザとコロナの同時流行!?などのニュースも聞かれ、心配な冬がやってきます。学校でも引き続き感染症対策を講じながら、教育活動を進めていきます。皆様もどうぞお気を付けてください。なお、ご家族で体調不良の方がいらした場合は、登校をお控えいただけるようお願いいたします。



全国学力・学習状況調査の結果

【本校・伊豆市・全国の平均正答率の比較】

	国語	算数
伊豆市	○	△
本校	○	△

※○全国を上回った △全国を下回った

本年度の全国学力・学習調査(対象は小6)の結果が示されました。左表は、全国の平均正答率と伊豆市、本校の6年生の結果を比較したものです。

全国学力・学習状況調査の目的は「各学校が児童の学力や学習状況の現状を把握し、子どもたちの学力向上のための取組み(改善)に生かしていくこと」にあります。そこで、今回の結果を受けて、教職員で傾向と対策を考えるとともに、各学年段階で身に付けるべき力についても話し合いました。本校の分析の一部ですが、ご報告いたします。子どもの「できた」「分かった」につながるような指導方法を一層工夫していきます。今後とも様々な面で、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

☆上記の通り、国語については全国平均を上回りましたが、算数については、若干下回っています。全体的に無解答率が高くなっています。一問一問じっくりと解き、時間配分がうまくできなかったことが考えられます。



☆国語について

多くの項目で、平均点を上回っています。特に、「登場人物の相互関係について、叙述を基に捉える」「漢字を文中で正しく使うこと」等は、平均を大きく上回っています。一方で、「書くこと」「言葉の働き」等、自分が考えたことを条件に合わせて書いたり、言葉の意味を正確に理解しながら読み進めたりすることに苦手さが見られました。

☆算数について

「データの活用」の領域については、よくできていました。また、記述形式の解答も比較的できています。しかし、図形の問題や「変化と関係」の領域などは正答率が低くなっていました。全学年までに習う公式等が身に付いていなかったことが考えられます。

問題を解くためには、前学年までの学習を確実に定着していくことが、大切です。また、市の分析結果にもあるように、答えに見当をたてる力も必要となってきます。

そのような力を付けるためにも、学習指導要領を基に、各学年の身に付けるべき力を把握し、1年間を通じて系統立てて指導していくことを再度、職員で確認しました。「話す・書く」力の向上のためにも、話術を身に付けたり、自分の思いに即した言葉が伝えられるように語彙を増やしたりしていくことも大切です。

また、自分の生活に結びつけ、「学習したことは、生活に生かせる」ということを実感しながら学習をすることで、さらに各教科への興味関心を高め、理解を深めていくのではないかと感じました。

南小の子どもたちの実態を把握しながら、授業や家庭学習において、既習事項が定着するような、主体的に学びたいと思えるような場面を設定し、積み重ねていきます。